

平成31年度事業計画

社会福祉法人 雅福社会
すえひろ保育園

1. 運営

(1) 所在地 すえひろ保育園 大阪府門真市末広町2-15

(2) 定員 50名 ()内4月1日在籍予定

0歳児 6名(6名) 1歳児 8名(9名) 2歳児 9名(9名)

3歳児 9名(11名) 4歳児 9名(10名) 5歳児 9名(11名)

(3) 職員配置(4月1日予定)

常勤職員 施設長 1名 副施設長 1名 主任保育士 1名 保育士 14名

子育て支援員 1名 保育補助 1名

非常勤職員 保育士 2名 子育て支援員 2名 保育補助 2名 清掃 2名

児童クラブ兼任職員 2名

(4) 運営管理

① 会議等

職員会議、以上児未満児会議、ケース会議、給食会議、四園会議(うちこし・きたじま・すえひろ・きずな)などを定期的で開催し、各行事等の役割分担を明確にすることにより園の円滑な運営に努めます。

② 保育体制

保育経過を見直し、それに基づいた保育計画、年間計画、月保育計画、週案により保育します。

2. 保育の基本方針

(1) 保育目標

- ・子ども達が人を愛し愛されることに喜びを感じるよう 一人ひとりを大切に育てる保育を提供します。
- ・様々な体験活動を通し 五感に刺激を与え豊かな心をそだてます
- ・健康、安全で生命の保持および情緒の安定を図ります
- ・地域活動や地域の子育て支援に協力します
- ・全職員が責任を果たしコミュニケーションの務め協力し保育に関する知識、技術を研鑽します
- ・目標の達成と仕組みの継続的改善により保育の質の向上をはかります
- ・異文化を学びながら日本の文化を再認識し、体験を通し伝承に努めます

(2) 年齢別保育方針

○0 歳児クラス

生理的欲求を満たし、安心して過ごす

○1 歳児クラス

保育者との信頼関係を築き、行動範囲を広げ探索活動を盛んにしていく

○2 歳児クラス

身の回りのことを自分でしようとしたり、生活や遊びを通して友達や保護者と過ごす楽しさを体験する

○3 歳児クラス

身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する

○4 歳児クラス

様々な体験活動の中で友達と共に感情豊かな表現をする

○5 歳児クラス

自己を発揮しながら仲間意識を高め、自立的・意欲的に活動する

3. 開園時間

平日 午前7時00分～午後7時00分（延長保育含む）

土曜 午前7時00分～午後6時00分

4. 年間計画 別紙参照願います

5. 障がい児保育

支援を必要とする児童や保護者の対応については、職員共通理解と連携のもと、個々に応じた配慮・支援を行います。また、障がい児受け入れに伴い、専門知識の深い加配をつけ、それぞれのリズムにあった保育を提供します。発達of気になる児童については、子育て支援課の巡回発達相談・指導を得、見通しをもった保育を行います。

6. 保育設備

1階 保育室（0歳児・1歳児）、調乳室、沐浴室、調理室、便所、倉庫

2階 保育室（2歳児・3歳児）、事務室、医務室、職員更衣室、便所

3階 保育室（4歳児・5歳児）、一時預かり室、湯沸室、シャワー室

7. 職員研修

職員の資質向上を図るため、積極的・計画的に研修会に参加させます。

また、研修内容のレポートの提出を義務付けるとともに、適宜職員会議において、その発表を行い受講した職員のみならず保育園の課題に関して全員の共通理解を深め改善に努める体制を作ります。

8. 給食

京料理 花萬による業務委託

- ① 安心安全の食材の調達と衛生管理、手作りメニュー・楽しい食事の提供
- ② アレルギー除去食・代替食の実施
医師の指示書の下、その都度保護者と話し合いをしながら除去を行い、誤食の事故防止に努めます。
- ③ 食育は給食室がとりまとめ、管理栄養士は保育と連携し、食育計画を策定。
- ④ 保護者への情報提供とし、給食だよりを毎月発行します。

9. 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大防止のため情報提供や嘱託医の指導のもと健康相談等行っています。

- ① 身体測定 月1回
- ② 内科健診 年2回
- ③ 歯科健診 年1回
- ④ 嘱託医による保健だより配布
- ⑤ 職員検便（0歳児担任） 毎月1回

10. 安全対策

- ① 非常災害に対する具体的な防災訓練を毎月1回行う。
- ② 事故防止充実のためのヒヤリハット報告活動の改善
- ③ 防災備蓄品の再点検と充実

11. ボランティアの受け入れ

- ① 保育学生の保育実習を受け入れます。
- ② 中高生の職場体験実習を受け入れます。

12. 子育て支援活動

地域の保護者の子育て支援のため、育児サークル「かがるールーム」の開催や一時預かり保育のほか、子育て相談や、夏祭り、運動会、お餅つき大会への招待、赤ちゃんの駅など、保育園が身近な存在となるよう努めます。